

暮らしを支える 仲間と連携 を語り合う会

～あなたと

つなぐ手 つながる手～

日時 : 8月4日(金)
午後7-9時(受付6:30～)

場所 : アイパル3階 エトワール

参加者 : 趣旨に賛同の皆様

医療・福祉・介護(通所系・訪問系・入所系)に携わる方

参加費 : 5,000円(税込み)

酒席があります。お車はご遠慮ください。

申込方法 : 裏面をご覧ください

主催者 : フラットな会

趣旨説明

駒ヶ根市の多職種連携が活発に行われていることは、県内の市町村からも注目されています。

これは各業種の枠を超え、頻回に事例検討を重ね、実際に顔を突き合わせて患者さん・利用者さんを中心に考えていることに他ありません。

そこで今回は、目の前の利用者さんのため、働く自分たちのため、そして将来の自分たちのために、行政やご自身の所属する団体等の枠は全て取り払い、本音で語り合うフラットな会を企画いたしました。

駒ヶ根市は、他業種と名前と顔がつながりつつあります。今回は更に、気持ちがつながる関係を目指しています。ぜひご参加ください。

内容

- 私たちは 地域包括ケアシステムの一翼をどう担えるか？
- ワールドカフェ方式で懇談
- 企業人から見た今後の福祉

問合せ先

中山 教保

☎ 090-4181-8262

発起人<フラットな会> : 神戸正博(神戸医院)、前澤毅(前澤病院)、池上正資(とうせい歯科医院)、増澤良雄(福祉を考える企業の会)、中村英治(フラワーハイツ作業療法士、くるみ施術院)、森明生(フラワーハイツ支援相談員)、伊藤園子(昭和伊南総合病院緩和ケア認定看護師)、前田吉彦(上穂みなみ薬局薬剤師)、中山教保(プラムの里主任介護支援専門員)、北澤愛(千寿園主任介護支援専門員) 順不同

お申し込み方法

- 申し込み期限の7月25日（火）までに、下欄をご記入いただき、FAXでお申し込みください。
- キャンセルの場合は、前日昼12時までに、千寿園北澤（電話83-7036）にご連絡ください。前日12時以降キャンセルは費用が発生します。

当日はぜひ名刺を
ご持参ください！
(無くて大丈夫♥)

お名前（職種）	()
	()
	()
	()
お勤め先	
電話やFAX等 連絡先	電話： FAX：

お問い合わせの場合は、中山 教保へ（電話 090-4181-8262）

お申し込みは、北澤 愛へFAX（0265-83-7035）にてお申し込みください。

参加費

開催日当日にお支払いいただきます。

FAX 0265-83-7035 申込受付窓口 千寿園 北澤 愛 行

暮らしを支える仲間と 連携を語り合う会Ⅱ ～あなたと つなぐ手 つながる手～

日時 : 5月17日(木)
午後7-9時(受付6:30～)

場所 : アイパル2階 アイリス

参加者 : 趣旨に賛同の皆様

医療・福祉・介護(通所系・訪問系・入所系)に携わる方

参加費 : 無料

この研修会は公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の助成を受けています。

申込方法 : 裏面をご覧ください

主催者 : フラットな会 上伊那医師会

問い合わせ先

中山 教保 ☎ 090-4181-8262

(下記フラットな会のメンバー誰でも)

軽食をご用意しました。
つまみながらリラックスして話を盛り上げましょう

趣旨説明

駒ヶ根市の多職種連携が活発に行われていることは、県内の市町村からも注目されています。

これは各業種の枠を超え、頻回に事例検討を重ね、実際に顔を突き合わせて患者さん・利用者さんを中心に考えていることに他ありません。

そこで、目の前の利用者さんのため、働く自分たちのため、そして将来の自分たちのために、行政やご自身の所属する団体等の枠は全て取り払い、本音で語り合う、暮らしを支える仲間と連携を語り合う会を企画いたしました。

上伊那は、多職種と名前と顔がつながりつつあります。今回は「地球3周」するくらいみんなで話をして、気持ちがつながる関係を目指していきます。ぜひご参加ください。

内容

- 講演① : 駒ヶ根市における医療・介護の連携の現状
(駒ヶ根市地域保健課 浜達哉さん)
- 講演② : 在宅支援診療所の現状(上伊那医師会)
- 私たちは 地域包括ケアシステムの一翼をどう担えるか?
- グループワークで懇談

発起人<フラットな会> : 神戸正博(神戸医院) 前澤毅(前澤病院) 池上正資(とうせい歯科医院) 増澤良雄(福祉を考える企業の会)
中村英治(フラワーハイツ作業療法士 くるみ施術院) 伊藤園子(昭和伊南総合病院 緩和ケア認定看護師) 前田吉彦(上穂みなみ薬局 薬剤師)
松澤澄恵(駒ヶ根市地域包括支援センター) 伊藤陽子(社会福祉士) 中山教保(プラムの里 主任介護支援専門員)
北澤愛(千寿園 主任介護支援専門員)

順不同

お申し込み方法

- 申し込み期限の5月10日（木）までに下欄をご記入いただき、FAXでお申し込みください。
- キャンセルの場合は、千寿園北澤（電話 83-7036）にご連絡ください。

当日はぜひ名刺を
ご持参ください！
(無くて大丈夫♥)

お名前（職種）	()
	()
	()
	()
お勤め先	
電話や FAX 等 連絡先	電話： FAX：

お問い合わせの場合は、中山 教保（電話 090-4181-8262）他フラットな会メンバーまで
お申し込みは、北澤 愛へ FAX（0265-83-7035）にてお申し込みください。
尚、この研修会は公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の助成を受けています。

参加費無料

FAX 0265-83-7035 申込受付窓口 千寿園 北澤 愛 行

暮らしを支える仲間と 連携を語り合う会Ⅲ

～あなたと

つなぐ手 つながる手～

日時 : 11月5日(月)
午後7-9時(受付6:30～)

場所 : アイパル3階 エトワール

参加者 : 趣旨に賛同の皆様

医療・福祉・介護(通所系・訪問系・入所系)に携わる方

参加費 : 無料

この研修会は公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の助成を受けています。

申込方法 : 裏面をご覧ください

主催者 : フラットな会 上伊那医師会

問い合わせ先

中山 教保 ☎ 090-4181-8262

(下記フラットな会のメンバー誰でも)

軽食をご用意します。
つまみながらリラックスして話を盛り上げましょう

趣旨説明

この会は、自身の所属する団体等の枠を全て取り払い、本音で語り合う会です。介護が必要になったとき、そして最期を迎えた時、本人・家族の思いを最大限実現するために私たち支援者が連携を密にし、チームで支えることを目指しています。そのために、テーマごとに話し合い・語り合いを積み重ね、他職種間の理解・信頼がより一層深まることを目指していきます。

今回のテーマは「訪問看護の底力」です。

どんな病気や障がいがあっても、「最期まで自分らしく生きる」ことを支える在宅医療・介護の分野から、今回は訪問看護にスポットをあてて語り合います。

内容

- 話題提供①
伊南訪問看護ステーション
- 話題提供②
昭和伊南総合病院訪問看護
- グループワーク
2025年問題に向けての理想の訪問看護の姿を語り合う

発起人<フラットな会> : 神戸正博(神戸医院) 前澤毅(前澤病院) 池上正資(とうせい歯科医院) 増澤良雄(福祉を考える企業の会)
中村英治(フラワーハイツ作業療法士 くるみ施術院) 伊藤園子(昭和伊南総合病院 緩和ケア認定看護師) 前田吉彦(上穂みなみ薬局 薬剤師)
松澤澄恵(駒ヶ根市地域包括支援センター 保健師) 中山教保(プラムの里 主任介護支援専門員)
伊藤陽子(駒ヶ根市社会福祉協議会 社会福祉士) 北澤愛(千寿園 主任介護支援専門員) 順不同

お申し込み方法

- 申し込み期限の 10 月 26 日（金）までに下欄をご記入いただき、FAX でお申し込みください。
キャンセルの場合は、11 月 2 日（金）までに 千寿園 北澤（電話 83-7036）にご連絡ください。

当日はぜひ名刺を
ご持参ください！
（無くて大丈夫♥）

お名前（職種）	()
	()
	()
	()
お勤め先	
電話や FAX 等 連絡先	電話： FAX：

お問い合わせは、中山 教保（電話 090-4181-8262）又はフラットな会のメンバー誰でも
お申し込みは、北澤 愛へ（FAX 0265-83-7035）お申し込みください。

参加費無料

FAX 0265-83-7035 申込受付窓口 千寿園 北澤 愛 行

訪問看護テーマ 従事者らが議論

駒ケ根130人参加

駒ケ根市の医療・福祉関係者ら有志11人でつくる「フラットな会」は5日、患者が自宅で医療措置や介護を受ける訪問看護について、業種を超えて理解を深め、連携を探る会合を市内で開いた。上伊那南部を中心に伊那谷の医療・福祉関係者約130人が参加。それぞれの専門的な立場から議論した。

医師や看護師、介護福祉士、薬品会社社員、県看護大(駒ケ根市)教員らが参加。8、

9人ずつに分かれ、「訪問看護は訪問介護より経済的負担になる」「医療の情報がケアマネジャーに共有されていない



訪問看護について意見を交わす参加者

いことがある」「きちんと薬をのむことを患者に促す方法を考えたい」などと熱心に意見交換した。

同会は、自宅で暮らす高齢

者や障害者らの支援に向けた連携を目的に昨年5月に設立。在宅医療などをテーマに語り合う会を開き、3回目の今回は上伊那医師会と合同

で行った。フラットな会発起人の1人、開業医の神戸正博さん(62)は「顔の見える関係で連携したい」と話していた。

30年11月8日
信濃毎日新聞